

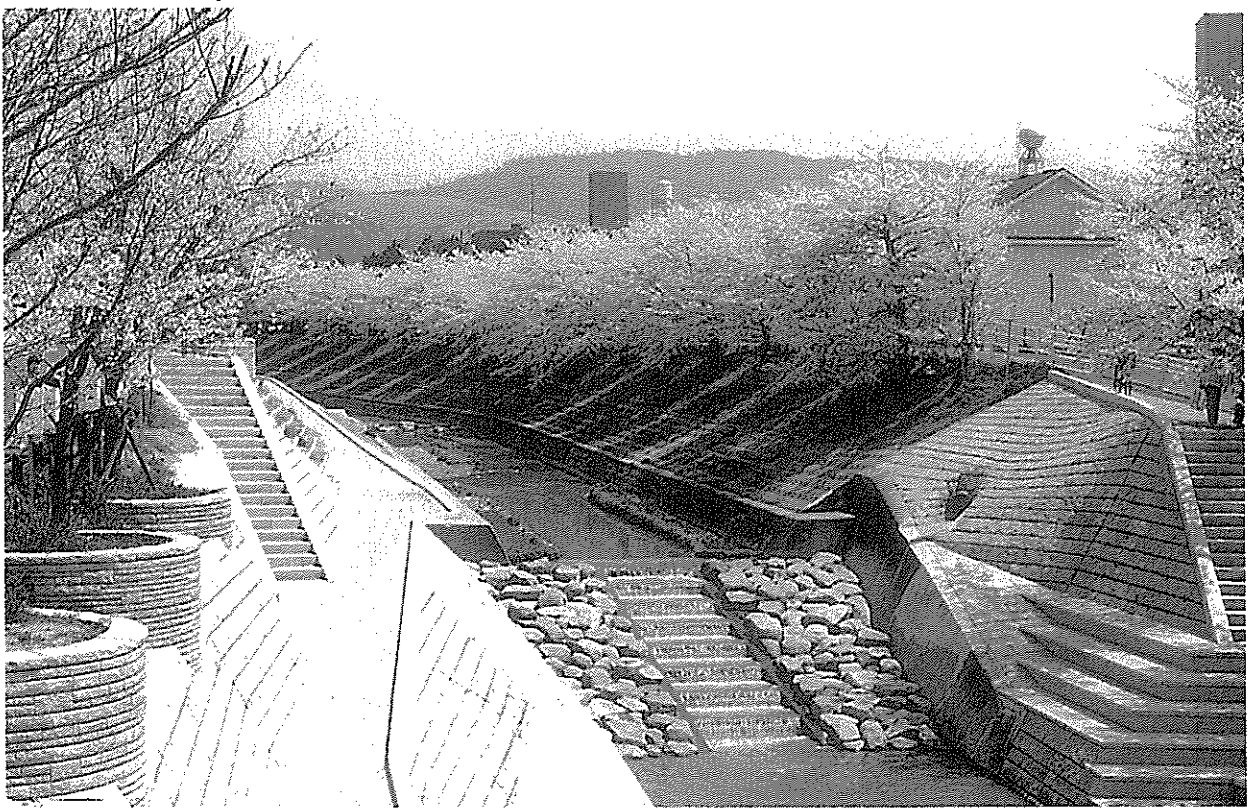
共生

奈良県生協連

2001年4月

NO.40

万葉のいぶきを求めて—(5)



佐保川河畔 水辺の楽校

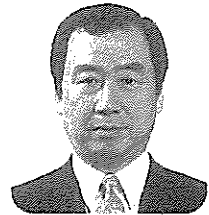
佐保川の 清き川原に鳴く千鳥 かはづ 蝦と二つ 忘れかねつも

作者不詳

佐保川は春日山中に源を發し、平城京裡を縦断して流れる。平城遷都の際、四神相應の地の条件の一つ「東に流水有り」とされた。万葉人にとっては重要な位置を占めていたのか、万葉集には17首もの歌が残されている。往時は千鳥が群れ飛び、かじかの住む清流であったようだし、江戸時代にも佐保川の蛍が奈良八景の一つに数えられている。しかし今日では川の両側には民家が密集し、かつての清流の面影はないが、地域の人々の「佐保川に蛍をよみがえらせよう」という運動や、営々とした努力が実を結び、清流がよみがえりつつある。また近年、河岸に野外ステージや魚道などを整備した「水辺の楽校」が完成し、川魚の放流も行われている。千鳥が群れ、かじかの鳴く、万葉の清流のよみがえる日を待ちたい。

新しい世紀に よりよいくらしの創造の運動を さらに広げよう

奈良県生活協同組合連合会
専務理事 瀧川 潔



21世紀の新しい年度が明けました。生活協同組合の理念である「ひと(生物)を中心としたよりよいくらしの創造」は、21世紀の世界共通の願いです。国際的に経済のさまざまな行き詰まりが、人間性をも失わせかねない状況を作り出している今日、私たちの理念にもとづく地道な活動を、この奈良の地で一つひとつ積み上げて行くことが、今ほど大切なときはないと考える新世紀の明けです。

さて昨年度は、食品の安全をめぐるいろいろな問題がありましたが、おりしも全国で生協が取組んだ「食品衛生法の抜本的改正」を願う署名運動が、多くの団体や関係各位のご理解も得て爆発的な広がりを見せ、目標の1千万人を超過し1300万人を超えるまでになりました。この奈良県においても、会員のならコープをはじめとする労済生協や大学生協の活躍と、JAならけん他多くの団体・個人のご協力を得て、国会請願署名で27万人超、県議会請願署名で26万6千人の署名をいただき、目標の20万人をはるかに超える大成果となりました。なかでも大切なことは、県議会への請願に必要な県会議員の方々への粘り強い訴えによって、全ての会派の議員先生の紹介署名がいただけたことです。

奈良県においては、私たちの生協の活動に対してなかなか深い認知をいただくことができず、特に地域生協であるならコープの活動が、一部の特殊な人たちによって運営されていると誤解されている傾向が今でもかなり残っております。

県をはじめ各行政や諸団体の皆さんの間では、かなりそういった誤解はなくなってきましたが、特に今回県会議員のみなさんに紹介議員の願いを訴えるに際して、そのことが多くの議員さんから述べられ、まだまだの感想を強く持ちました。地域の市民運動や消費者運動を議員のみなさんが受け入れ、支援していくような議会活動のありかたは、まだなかなか受け入れられない状況のようです。そう言う意味では、この4月の新地方自治法の施行にあたり、まさに住民本位の地方行政を進めていく上で、このような21世紀型ともいえる運動の進め方をもっともって議員の皆さんにもご理解いただき、みんなが進めていくことが必要になっているのではないでしょうか。地域で大多数の組合員を擁する生協がよりよいくらしを目指して活動することの大切な意味を、もっともって県会議員さんや多くのオピニオンリーダーのみなさんにお知らせしていくことも必要です。

奈良県生協連はこのような活動の中心となって、当面の「食品の安全の運動」をはじめ、21世紀に奈良県の消費者・市民の願いを一つひとつ実現して行き、奈良県のすみずみによりよいくらしの創造の活動を広げていくことが大切だと考えます。これからも、会員はじめJAなどの協同組合、他多くの友誼団体や各議員のみなさんに、ますますのご協力、ご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

2001年度のとりくみ

重点課題

- 1) 会員生協の経営状況を把握し、日生協と連携しながら経営支援をします
 - ・経営状況の共有化
 - ・不振生協との協議
- 2) 会員生協の組合員活動との連携を強めます
 - ・環境、福祉、平和、食と健康、生活文化や生活支援、消費者運動課題等の組合員の取り組みや他団体との連携
 - ・大学生協連 京滋・奈良地域センターと連携し、学生の文化的要求実現に向けて県内学生連帯支援
- 3) ネットワークをひろげます
 - ・協同組合間協同の強化
 - ・各種友誼団体・消費者団体との連携強化
- 4) 県行政との関係強化をめざします
- 5) 県議会、政党及び党派へ理解と協力を得られるよう努力します
- 6) 生協間の連帯を強めます
 - ・経営支援や国民的運動課題等、日生協および地連との連携
 - ・県連活動における交流等、全国都府県連、近畿府県連との連携
- 7) 広報活動を強めます
 - ・生協連ニュース「共生」の内容の充実
 - ・ならコープ広報室との連携でもって、マスコミとの関係強化
- 8) 食品の安全行政の充実・強化に向けて協議をはじめます
 - ・県議会請願採択に基づき、県行政との協議
 - ・行政との協議に向け、県連・ならコープ共催による「食品の安全研究会(仮称)」の設置
- 9) 災害時の緊急対応や被災者住宅再建の法整備に向けて連帯して取り組みます



新年度にあたって	2	食の安全	6	平和	11
2001年度のとりくみ	3	福祉	8	広がる協同・くらしの輪	12
2000年度のトピックス	4	環境	10	つながる連帯・友好の輪	14

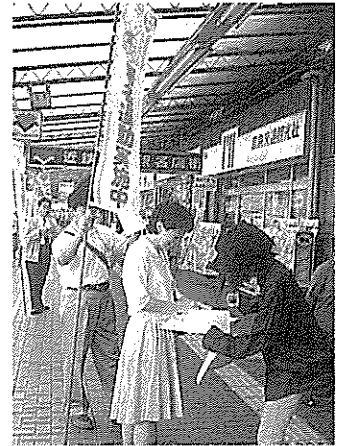
2000

2001年度

トピックス

食の安全キャンペーン

「食品衛生法の抜本改正」「食品安全行政の充実強化」に向けて国と県に対する2つの署名活動を行い、目標を大きく上回る署名を集めることができました。県議会においては全会派の紹介議員でもって趣旨採択され、国会に向けては多くの紹介議員でもって請願書を提出しました。



2000奈良県市民平和行進

5月6日、東京夢の島を出発した2000市民平和行進は、6月26日～30日、奈良県入りし、暑い日も大雨の日も、自らの行動をとおして市民の熱い思いや、被爆者の願いを届けたいと、県内各地を元気に歩きました。327人の行進参加がありました。

第11回生協大会

10月28日、特別養護老人ホーム「あすなら苑」において「私たち安心して食べたい」をテーマに開催し、135名の参加がありました。豊田歯科医院長の講演や、表彰式、報告会などで交流を深めました。



行政との協議会

近畿地区生協・行政合同会議

9月5日、奈良県新公会堂等において、第12回近畿地区生協・行政合同会議を開催しました。「21世紀における生協の果たす役割」をテーマに厚生省、日生協、各府県連で、活動交流と意見交換を行いました。

近畿農政局との懇談会

10月18日、近畿農政局において、近畿農政局と近畿生協連との懇談会を行い、食生活の見直しや安全・安心な農作物の安定供給に向けての連携、生協連からの課題と要望について意見交換を行いました。

生協・県行政協議会

5月18日と、11月16日、生協・行政協議会を開催しました。食の安全の取り組みについての説明や各生協の状況報告、奈良県の食品安全行政の充実強化、福祉活動の強化、食品リサイクル法に向けた取り組みへの支援、消費者行政の充実等の要望に対して回答をいただき、意見交換を行いました。



アースデー・スプリングinなら2000

4月23日、県第一浄化センターで開催され、参加者900人、15団体、3行政の参加、協力を得、大和川クリーンキャンペーンでは4トンのごみを収集しました。

第19回つながり祭

5月28日、奈良県障害児・者、家族、県民との「つながり祭」が、奈良教育大学において開催され、奈良県全域からの参加者で活気にあふれ、にぎわいました。



第8回協同組合デーのつどい

7月10日、あすなら苑において「食と健康」をテーマに開催され「日本笑い学会」理事の昇幹夫先生の講演や、ならコープ女性理事による食の安全パフォーマンスで盛り上がりました。



第12回ひまわり号列車

11月3日、今年で12回目のひまわり号列車が、秋晴れの中、約390名を乗せて宝塚に向けて走りました。車椅子や目の不自由な参加者にはボランティアが付き添い、それぞれに楽しい一日を過ごしました。



核兵器廃絶地球市民会議ナガサキ

11月17日～20日、長崎市において、核兵器のない平和な21世紀を実現するための20世紀最後の国際集会が開催されました。分科会では「核兵器禁止条約」「核抑止論の克服」等、各分野のリーダーの意見をもとに論議を深めました。



●●● 食の安全 ●●●

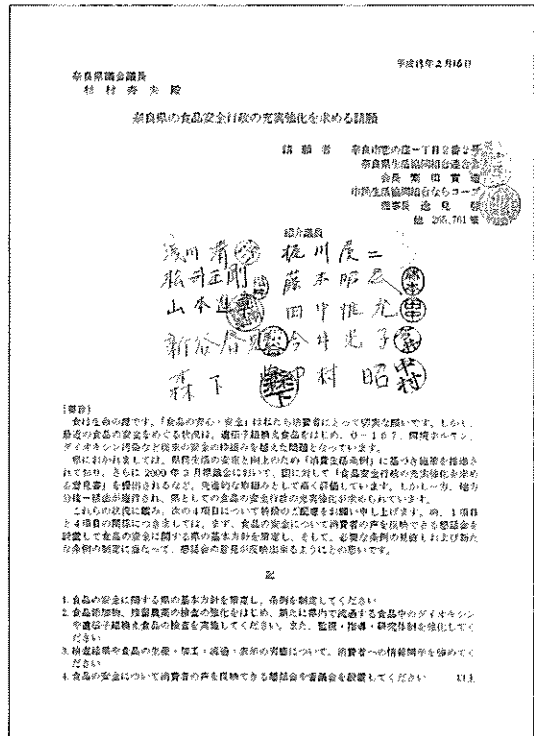
食の安全キャンペーン

県議会で請願趣旨採択

「奈良県の食品安全行政の充実強化を求める請願署名」を奈良県生協連とならコープが呼びかけ、各種協同組合や友誼団体の協力により、26万5千人を上まわる県民のみなさんから署名をいただきました。そして、厚生委員会を中心に全会派（6会派・10名の議員）からの紹介議員で2月県議会へ提出しました。3月9日の厚生委員会で、議員から「埼玉の食品の安全に関わる基本方針」を例に県の前向きな検討を求め、全員一致で趣旨採択され、同23日の本会議で承認されました。



杉村議長へ請願書提出



提出した請願書

食品の安全に関する国際シンポジウム

1月31日、「食品の安全に関する国際シンポジウム 今日的に求められる食品安全行政と消費者参加」（日本生活協同組合連合会主催）が、東京有楽町朝日ホールで開催されました。この集会はEU・アメリカの安全行政の動向を学び、日本の食品安全行政の現状と課題を明らかにすることを目的に開かれ、日本生協連の竹本会長は「食品衛生法を消費者中心の法に改正し、情報公開と消費者参加を求めていく」と挨拶し、アメリカの環境保護コンサルタントのリサ・Y・レフアーツ氏が「アメリカにおける消費者参加と食の安全について」、前イギリス生協連食品政策担当のフリーダ・スタック氏が「欧州連合と

コーデックス委員会における消費者」、駐日欧州委員会代表部・オブ・ユールヨーゲンセン氏が「消費者保護の観点に立って、一般食品法案の作成、欧州食品庁の創設、80を超える措置からなる食品関係の法改正のプログラム」について紹介し、厚生労働省医薬局食品保険部企画課課長補佐・今村知明氏が「食の安全アクションプラン」について説明されました。その後、全国消団連事務局長・日和佐信子氏、日本薬剤師研修センター理事長・内山充氏も含め、ジャーナリスト・元朝日新聞論説委員・岡田幹治氏をコーディネーターにパネルディスカッションが開かれました。

国会請願紹介議員依頼活動

県議会請願と同時に取り組んだ「食品衛生法の改正と充実強化を求める請願署名」が27万人を上まわる県民のみなさんから署名をいただきました。尚、全国では1340万筆を上まわる署名が寄せられています。そして、地元選出の国会議員に理解と協力を得る活動に取り組み、現在、

奈良県から8名の国会議員と全国では380名の国会議員から紹介議員の内諾（3月23日現在）をいただいています。6月の国会審議に向け、過半数以上の紹介議員のお力添えを得ながら請願採択に向けて全国の生協が連携して取り組んでいます。



紹介議員の署名（議員会館にて）

紹介議員の承諾をいただいた県内選出国会議員

家西悟衆議院議員・植田至紀衆議院議員・奥野誠亮衆議院議員・高市早苗衆議院議員・
滝実衆議院議員・中村哲治衆議院議員・森岡正宏衆議院議員・吉田之久参議員議員（以上五十音順）

全国生協組合員集会

3月7日、清陵会館において、食品衛生法改正と運用の充実強化を求める「3・7全国生協組合員集会」が、42生協（連）223人の参加で開催されました。各党派国会議員が到着順に、岩佐恵美参議院議員（共産党）、樋高剛衆議院議員（自由党）、青山二三衆議院議員（公明党）、河野太郎衆議院議員（自民党）、石毛えい子衆議院議員（民主党）、中川智子衆議院議員（社民党）から食品衛生法改正に向けて前向きに検討するという内容や積極的に進めるという内容の挨拶が行われ、また、賛同団体として、JA長野中央会・小松正俊氏、全国消団連・加藤雅代氏、主婦連合会会長・和田正江氏の連帯の挨拶の後、会員生協から取り組み報告が行われ、今後の取り組みの意志統一を行いました。



共に生きる町づくりをめざして

ならコープサークル

ガイドサークル ハートアンドアイ 上殿 紀久子

「コープのいろんな企画に参加したいので外出の手引きをしてもらえませんか」という視覚障害者の一組合員さんの声が、サークル結成のきっかけになりました。各店舗で学習会が開かれ、準備会へと発展したのです。目が見える人なら誰でもできる活動というのが基本です。手引きをする人の右上腕を持ってもらって一緒に歩きます。実習でペアを組み一方が目かくして歩くと、不安そのものです。そこで相手の立場に立って声かけをします。目の前に何があるか、まわりがどうなっているか、具体的にわかりやすく伝え

ばいいわけです。電車の乗り降り、エスカレーターや階段なども、実習をくり返すことで誰でもできるようになります。大事なことは、視覚障害者をどう考えるのか、ボランティアをどう考えるのかという点です。同情や親切のおし売りでは失格です。この点について時間をかけて話し合いました。結果的には5回の準備会を持ったこととなります。その内容をまとめて「サークルのとりきめ」にしました。細かい点は省いて、全体にゆるやかなものにして、動きやすくしておこうということも特徴の一つです。

「とりきめ」の主な点は、次のとおりです。

- ・お互いに市民社会の一員である (対等)
- ・障害者の必要とすることを充たす活動で相手の「自立」を損なわない
- ・お互いのプライバシーを守る
- ・サークル会員は、ならコープの組合員
- ・依頼者は組合員外でも可
- ・経費は、交通費のみ依頼者に負担して頂く
- ・無理をしないで、時間と都合のつく範囲で活動しよう

昨年4月から実際に活動が始まりました。依頼は電話で入ります。交通費の負担が大きくなるように、できるだけ近くの者が応じられるようブロック毎に担当を決めています。依頼内容は、病院への付き添い、見学・講演会・学習会への参加、ハイキングやスポーツ交流会、私用外出などが主なものです。毎月1回の定例会で事例を出しあって学び合いますが、教えられたり、感動したり、再発見があったり、頭と心がやわらかくなるような気がします。初めは不安であっても、依頼者から逆に教えてもらって自然体で動けるようになっていきます。県内の6千人近い視覚障害者の多くは、自分の楽しみや気分転換のために外出できる状態ではないことを学んで、人として当然の要望が出せるようになればと願っています。サークル会員も26名ですが共に遊び、学び、交流しながらふやそうと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

ここで生まれてよかった そんな街を!!

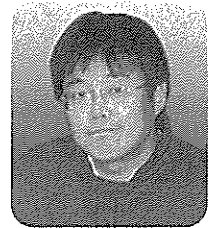
～新しい施設づくりと私たちのめざすもの～

「かすが共同作業所」が1988年に開所した当時、奈良には作業所は3ヶ所しかありませんでした。まだまだ作業所づくりが困難なそんな状況の中、財政的な基盤や強力な後ろ盾など何もなく、ただ長い間在宅を強いられた重い障害のある人たちの“働く場と豊かな生活を地域に築きたい”という願いに共感した人たちが集まり、その願いだけを支えに始まった「かすが」の取り組みは、関係者の注目を集め多くの見学者が訪れました。障害の種別を越え、「仲間が主人公」という理念のもと、古くて狭い文化住宅の一室で生き生きと輝く仲間の姿は、以後次々と開所された作業所づくり（現在奈良市では20ヶ所をこえる）への先駆けでもありました。

1年目の仲間の給料は月千円でした。それでも「40歳で生まれて初めて自分で働いてもらったお給料だから、いつまでも大切にしまっている」と笑顔で教えてくれたひろこさん。みんなと同じように字が書きたいと昼休みや、帰宅後に毎日毎日練習し50歳を過ぎてひらがなをマスターしたさちこさん。小学校入学以来、家以外では決してしゃべったことがなかったよしもとさんの声を作業所通所7年目にして初めて聞いて、みんなで大喜びしたあの日。企業就職で負った心の傷を仲間とのつながりのなかで自信に変えつつあるよしひこさん。逆に10年たって再び企業就職にチャレンジし頑張っているともえさん。深刻な問題を抱える仲間もたくさんいます。そうして、たった5名の仲間から始まった小さな運動は、現在2ヶ所の共同作業所に20名の仲間が通う“生きがいの場”となってきたのです。

作業所の発展は同時に、新たな問題や課題を生み出しました。後を絶たない入所希望者。仕事の確保と給料の問題。家族や本人の高齢化による生活の問題。役割の多様化（地域生活援助等）による運営組織の強化という課題。そして何と云っても慢性的な財政難は無認可作業所の限界を明らかにしました。そこでこれらの問題解決のため、私たちは社会福祉法人格の取得と法定施設建設を決意したのです。

かすが共同作業所
所長 古木 一夫



この施設づくりを単なる建物づくりにとどめず、私たちがこれまで大切にしてきた仲間・家族・職員・関係者・そして地域の人たちとの支え合いやつながりの中で実現していこう。そして、この運動を障害のある人も、そうでない人も、子どもからお年寄りまで誰もが豊かに暮らせる地域づくりと、その拠点となる施設づくりへとつなげよう。それが私たちのこの事業に取り組む一番の願いです。

週1回の日曜作業所として、まったくのゼロからスタートして13年。念願の法人認可施設建設の実現まで、ようやくあと一步という所までたどり着きました。ここまで来れたのも、本当に多くの方々の励ましとご協力があったからこそと心から感謝しています。しかし現実には依然、約1500万円の資金不足は大きな壁となっていますし、情勢においても、社会福祉のあり方を根本から変える基礎構造改革が、仲間や家族の願いをどれだけ反映するものとなっていくのかなど、課題は山積みです。

この施設づくりが最終の目的ではなく、ここからまた新しい運動がスタートしていきます。誰もがここに生まれてよかったと、そう思える街づくりをめざしてこれからも仲間とともに歩み続けます。

施設建設実現に向けての 募金にご協力をお願いします！

募金の種類	A募金	1口	1万円
	B募金	1口	千円

募金方法

①郵便振替	口座番号	01060-6-68182
	加入者名	こぶしの会
②銀行振込	銀行名	南都銀行 南支店
	口座番号	0255874
	加入者名	こぶしの会社会福祉準備会

連絡先

〒630-8304 奈良市南肘塚町113
かすが共同作業所 Tel/Fax 0742-24-1112

21世紀最初の「地球の日」 アースデーにみんなで参加しましょう!!

21世紀は「環境の世紀」です。住みよい地球を次世代に引き継げるかどうか待ったなしの状況です。昨年11月のハーグでの温暖化交渉(COP6)の決裂をうけて、今年7月にCOP6再開会合(地球温暖化防止のための国際会議)が開催されます。新世紀を迎え緊急な対応が求められています。

このような状況の中、2001年4月22日、21世紀最初の「地球の日」を迎えます。日本の、又、世界の環境保護を願う市民とともに行動しましょう。奈良県では「アースデー2001 in なら」が4月22日(日)奈良県第一浄化センター自由広場で開催されます。ご家族で参加しましょう。

アースデー2001 in なら

大和川クリーン作戦

4月22日[日] 9:45~14:30 [開場 9:15]

※雨天決行(一部企画の発生あり)

奈良県第一浄化センター自由広場

近鉄ファミリー公園駅下車すぐ(徒歩でのご来場をお願いいたします。)

参加者全員で大和川(河川)沿いのびみ拾い!
みんな気分で参加してね!

大和川クリーン作戦(10:00~11:00)

会場で一部別冊、大和川はこみかいはいっしょで泳いでいるんだ、何トンのおもちゃを捨てるかな?
【持ち物】手袋、水はきき、弁当(ごみ袋は用意します)

身近な自然にふれよう!

自然観察会(11:30~12:30)

環境学博士・奈良生协の楽しいお話で自然の魅力を伝えよう!
定員100名・事前申し込みが必要

公園の自然も満喫

ウォークラリー(11:30~12:00受付)

チェックポイントにあるクイズをクリアして、景観をもっとよくなろう!
定員400名・自由参加

自由に絵を描いた自分だけの限もあげよう!

オリジナル風づくり(11:30~)

絵画(21日)に風づくり教室を行います。事前は現状の高になる用紙を自由に絵を描いて、風づくり教室へ持って来て下さい。当日(22日)は作った絵を大空高く飛ばそう!

【持ち物】絵の具

日時:4月22日(日)10:00~12:00 会場:なら県第1浄化センター

定員100名・事前申し込みが必要(4月15日受付)

つるカゴづくり(11:30~)

ホエークラブの体験コーナーです。木の丸を利用してカゴを作ります。
定員30名・事前申し込みが必要・参加費600円(自由参加)
【持ち物】手袋、ウツクイペンチ、作業のてらる袋

あじま産産之るおもちゃ、捨てたくて捨てるのやめよう!

いらないおもちゃの交換会(10:00~14:00)

ご家庭で不要となったおもちゃや玩具(おもちゃ、おもちゃ箱など)を持ってきてくださる方、いらないおもちゃや玩具を交換し合おう!

※おもちゃは必ず清潔な状態、※おもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます



参加無料

ステージイベント(9:45~14:30)

- ▲オープニング/やまびこ橋太鼓
- ▲アースデーおもしろクイズ大会
- ▲環境を考える劇「大和川SOS」ならこーぷ環境委員会
- ▲ふるまいお餅つき
- ▲ミニコンサート「ワタシは環境はハクシム」
- ▲ハラペコ楽団の みんなで作る手作り楽器音楽会
- ▲お楽しみ大抽選会

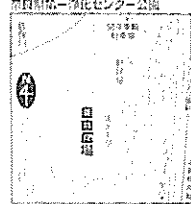
ブース展示・リサイクルバザー

パソコンで大和川を知るコーナーや、奈良県の川の歩道をみんなで作るコーナー、ペットボトルや紙、生ごみのリサイクル箱など、環境について楽しく学べる展示がいっぱい! 模擬店やリサイクルバザーもあります。

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

※お持ち帰りできないおもちゃは必ずお持ち帰りしていただきます

主催 アースデー2001実行委員会(主催団体:奈良県生活協同組合ならこーぷ)
共催 奈良県生活協同組合ならこーぷ
後援 国土交通省大和川工事事務所 奈良県 川西町 奈良県環境文化フォーラム
環境・文化奈良県環境推進協議会 ならこーぷ
お問い合わせ:〒742-0201 なら県第1浄化センター TEL 0742(34)8735



2007年3・1 ビキニデーに参加して

ならコープ理事 阪東 昌子

「久保山愛吉の墓」それは墓地の一番高い所で雨にぬれていた。

2月28日夕刻、私は静岡県焼津市の弘徳院に参拝した。明日（3月1日）墓前祭が営まれるのだが、多くの人で混雑するので先に案内して頂いたのだった。

1954年（昭和29年）3月1日、太平洋の赤道近くにあるビキニ環礁で行われたアメリカの水爆実験で被爆した第五福竜丸の乗組員23人のうち最初の犠牲者となったのが久保山愛吉氏だった。当時、新聞にも大きく報道され、「原爆マグロ」「死の灰」「放射能」「原子病」と恐れられ、日本中がパニックになったことを覚えておられる方も多いだろう。

実験に使われた水爆は「ブラボー」という名で、広島に落とされた原爆「リトルボーイ」の千倍の威力があったと言われ、その犠牲者は第五福竜丸の乗組員にとどまらず、平和で美しいマーシャル群島の中のロンゲラップ島に住む人々をも地獄に突き落とした。

女性はブドウのようなフニャフニャの赤ちゃんを産み、1～2日で死んでいく子を看取らなければならない。たとえ育っても、幼くして亡くなったり発育不全や障がいのある場合が少なくない。

現在、ロンゲラップ島は、アメリカが汚染土壌の入れ替えをし島民の帰島準備を進めているが、島民が再びこの島で平和に暮らせる日が来るのだろうか？

1946年から67回もの核実験にさらされているマーシャル群島の人々の暮らしや、被爆による被害はあまりにも知らされていない。そして今なお3万発以上もの核が地球上に存在するの



だ。しかし、今、核兵器廃絶は着実に世界の主流になってきており、昨年5月のNPT再検討会議で「核兵器の完全廃絶を達成するという核兵器国の明確な約束」をうたった最終文書が採択されたことは記憶に新しい。だが、その後もアメリカ・ロシアは未臨界核実験をくり返し「核兵器廃絶の明確な約束」に逆行している。しかも日本は「核の傘」はそのままで、核兵器廃絶に賛成。何とも矛盾した話である。

「原水爆の被害者は、私を最後に…」と言って亡くなった久保山愛吉さん、その後も被爆が原因と思われる肝臓ガンなどで亡くなった10人の乗組員。そして、広島・長崎で散っていった数えきれない人々の嘆きが聞こえるようだ。運良く命が助かっても、一生苦しみ続けている被爆者とその家族の気持ちを置き去りにしてはいないか…。

20世紀の過ちを21世紀にくり返さないためにも、そして子ども達の未来のためにも、私たちは核も兵器も武器もない世界の実現へ、さらに大きな流れを作っていかなければならない。平和活動は地味で地道だが、一番大切なことだと改めて痛感したビキニデーだった。最後に「武器を持つ者は武器によって滅ぶ」という言葉が心に残った。

広がる協同・くらしの輪

県生活衛生課との懇談

昨年12月15日、県庁において、県から生活衛生課の荒井課長補佐はじめ3名、生協から前田ならコープ理事はじめ6名の参加で開催しました。今回の懇談は、食品の安全に関わる2つの署名活動の状況報告と、今後、県の食品衛生行政を進めていく上で、消費者とのパートナーシップでもって進めて行くきっかけになればとの思いで申し入れをし実現しました。



アース基金協会

1月27日、フラボノセンターにおいて開催しました。2001年アースデーコンクールについて、10周年の総会のもちかたについて等の論議を行いました。

美味しんぼ交流会

2月5日、コープみみなしにおいて、奈良県女性農業士とコープ組合員のつどい（奈良県・県女性農業士会主催）が開催されました。この集いは、近年農業・農村に対して、食料の安定供給はもとより、国土・環境の保全や憩いの場の提供など、様々な役割が期待されているもとで、消費者との交流を通じて、女性農業士活動に役立てていくために開催されました。



消費者契約法学習会

2月6日、県文化会館において、消費者契約法の説明会（奈良県主催）が開催されました。4月から施行される契約法の内容について、内閣府国民生活局消費者企画課・堀田繁課長から説明があり、約100人が参加しました。

「21世紀の税制を考える」・「よく知って、上手に活かそう消費者契約法」学習会

2月10日、大阪府社会福祉会館において「21世紀の税制を考える」学習会（不公正税制をただす会主催）が開催されました。北野弘久日本大学教授が「21世紀のあるべき税制」、谷山治雄税制研究所所長が「21世紀の増税路線」についての講演後、分散会で内容を深めあいました。

また、大阪ドーンセンターにおいて「よく知って、上手に活かそう消費者契約法」（消費者契約法関西連絡会主催）が開催されました。各地からの報告、劇団エース公演（消費生活相談員）、こんぷろ座公演（弁護士有志）や、パネルディスカッションが行われ、消費者保護の視点から不十分な法の内容について、事例に添って法解釈上の説明が行われました。



消費生活審議会

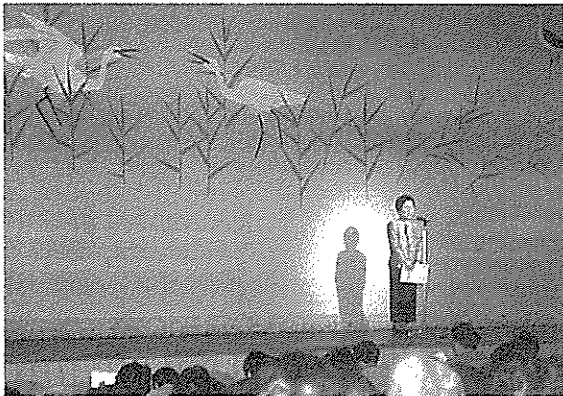
2月14日、県文化会館において開催されました。消費者代表として奈良生協連から繁田会長が出席し、生活科学センターの役割強化について等の発言を行いました。

映画「郡上一揆」試写会

2月22日、ならまちセンターにおいて試写会が行われました。(ならコープ主催) この映画は、江戸時代の重税にあえぐ農民の抵抗の歴史「農民一揆」の中の「郡上一揆」を、長年に渡って構想を暖めていた神山征二郎監督の渾身の作が、岐阜県、農協、生協、各種団体による後援や多くの市民参加によって作られました。奈良県内でも、自主上映が計画されています。

奈良県健康フォーラム21

3月3日、奈良県文化会館国際ホールにおいて開催されました。(奈良県健康を守る婦人の会主催) 今回のフォーラムは、痴呆に対する不安や疑問に答え、正しい理解を広めようと、痴呆介護相談、演劇「二度わらし」(劇団銀河)、講演「痴呆と家族のかかわり方」(岸本年史奈良県立医科大学精神科教授)や、パネルディスカッション等が行われました。



WTO農業交渉シンポジウム

3月6日、池坊学園において開催されました。(近畿農政局主催) 日本提案の内容説明の後、池上甲一近畿大学農学部教授を座長に、NGO代表、食品産業・経済界代表、農業者・農業団体代表、消費者代表らのパネリストによってシンポジウムが行われました。



労理共催シンポジウム

3月10日、あすなら苑において生協運動についての理解を深めようと、職員と組合員の自主的な参加で開催されました。(ならコープ理事会・労働組合共催) 「明日を拓く生協」と題して野尻武敏神戸大学教授の講演、おおさかパルコープの宮田久一支所長の自己変革を通じて職員の意識改革を進めていった実践報告の後、グループ討論を行いました。

ユニセフのつどい

3月18日、コープみみなし店において「ユニセフのつどいー菜の花コンサート」(ならコープ主催) が開催され、133名が参加しました。丸山祐一郎さんによる世界の民族楽器の演奏や、クイズラリー、地雷模型の展示等が行われ、店頭では、ブラジルや中国の異国料理コーナーが設けられました。



つながる連帯・友好の輪

奈良労済生協

一 全労済通信教育「ホームヘルパー養成講座

（2級課程）を2001年も開催！一

社会貢献活動の一環として、ホームヘルパー養成講座（2級課程）を厚生省の定める養成研修事業として、1997年より実施し、今回が5回目となります。（3級課程は1994年から3回開催）

4月から10月にかけて5ヵ所の施設にて実施し、12月が修了式と、大変長期間の受講となっておりますが、昨年より広く勤労市民の方々にも受講しやすい通信教育型として実施し、仕事を持ちながらでも無理なく受講できるということで好評を得ています。今年も多数の方から応募があり、結果30名の方に受講していただくこととなりました。

今までこの講座も7年間実施（2・3級課程）し、述べ225名の方を輩出することができました。

今後とも、全労済運動へのご理解と社会貢献への参画へのご協力の程、よろしく願いいたします。（推進2課 上田）

一の中で、無くてはならない存在として大きな役割を果たしてきたことを実感させられた祝賀会でもありました。祝賀会に参加された多くの人たちの思いを大切にして、これからも“奈良教育大生協”はがんばります。

□2月16日、推薦入学手続き日に推薦入学生への生協加入の受付を行いました。当日は雨、みぞれ、雪、強風という悪天候にもかかわらず、専務と学生委員が一緒になって新入生と親御さんに生協・共済・学賠の説明と、生協学生委員会が行う新入学へのピック企画の宣伝と、何でも相談会を行いました。推薦入学者は22名と少なかったですが、全員が奈良県外の人たちで、下宿する人が多く下宿探しに家族で行動されていました。2月25日、26日の前期試験では、受験宿泊する受験生に、入試に関する「何でも相談会」を行い、3月6日は合格発表、15日は入学手続きと、生協もだんだん忙しくなってきました。3月に4回生の学生委員が卒業してしまふと2回生が4人だけとなり、結構きつくなりますが、新入生を早く迎えて一緒に活動が出来ればいいかなと思っています。

（専務理事 村井）

奈良教育大学生協

□1月26日「奈良教育大学生協の法人格取得25周年」の記念祝賀会が学生会館山田ホールで約50名の参加者を迎え盛大に行われました。祝賀会当日には大久保学長、家村学生課長など大学関係者をはじめ、生協理事長OB、生協創立期の職員さんや元専務、学生理事OBのみなさんがお見えになりました。また京都、滋賀、奈良の大学生協の専務さんや取引先のみなさん、事業連合、県連、地域センターのみなさんも駆けつけてくださり、大きな連帯の輪の中で祝賀会を執り行うことが出来ました。県連及び県生活環境部からも祝電をいただきました。

祝賀会は比留間先生（前奈良教育大生協理事長）の司会で進行し、各界のご挨拶をはじめ、生協OBのみなさんからは大学を留年してまで生協に関わったことや、生協のために身も心もささげてがんばったことなどのエピソードが、つきることなく出されました。法人格取得から25周年という一区切りの祝賀会でしたが、奈良教育大生協の歴史はそれ以前からも含め、生協がこの奈良教育大学という小さなコミュニティ



岩本理事長のあいさつ



奈良県立大学生協

(旧奈良県立商科大学生協)

□2月19日に他大学の学生が商科大生協に来店、学生同士で交流を行いました。来店大学は同志社大学、奈良教育大学、樟蔭女子短期大学、立命館大学、滋賀県立大学の5大学。当日は商科大生協内のキャンパスツアー、ベジサンド作りと交流を行いました。ベジサンド作りは大好評！学生同士で活動交流を行いました。今度は商科大学の学生委員会が他大学を訪問して活動交流をします。

□3月2日～4日に学生委員会の全国規模のセミナー「組研セミナー」へ1回生3名参加。

今回は「ベジサンド」の報告を分散会で行いました。参加者は他大学の新学期の活動に刺激を受け、今年の新歓のイメージを湧かせて帰ってきました。

□3月8日一般入試がありました。今年を受験者数は419名。受験生へのお茶サービスを行いました。学生委員会が自分達の受験のころを振り返り、不安や心配が多かったことから、受験生に何かしてあげたいと、受験生相談会を行いました。受験生の質問や心配に答えたり、大学のイメージを伝えました。参加した受験生は6名、保護者が2名、受験生は先輩が来て「奈良県立大学に入学したい」と思ってくれました。企画した学生委員会も受験生に喜んでもらえて、やって良かったと話していました。

(店長 崎濱)

奈良女子大学生協

— 奈良女の春 —

今、2001年度新入生を迎える取組みを、2回生ウインディーが中心に頑張っています。受験宿泊相談を、三井・フジタホテルで行ない30名近くの受験生と話しをして緊張感をほぐすように楽しい取り組みができ、受験生も先輩相談員も喜んで、できました。3月8日の前期発表には180通(352人中)の合格袋が発送でき、昨年より準備が進みました。

今年は、奈良の大学生協にも職員が3名増え、5生協で9名になりました。5つの生協を県連中心につないで頂き、学生さんの元気、大学の

魅力、地域との交流を深め、生協の学生さんと奈良の生産者の交流も、昨年以上に進めたいと思います。満開の桜が咲く中、新入生の笑顔が楽しみです。
(専務理事 竹内)

奈良工業高等専門学校生協

— 新入生歓迎の準備始まる —

奈良高専生協では4月10日の入学式に向けて、新入生を温かく迎える準備を進めています。最大の企画は、毎年恒例となった、奈良高専学生会と奈良高専生協の共催企画『新入生歓迎パーティー』です。今年は4月14日(土)に行います。新高専生のため『新しい仲間づくり・楽しい学園生活のお手伝い』をしようと、スタッフ一同はりきって準備を進めています。当日は、みんなで食事をした後、グループに分かれてのゲーム大会などで交流を深めようと、いろいろな楽しい企画を考えています。この企画が新入生と生協学生委員会の最初の接点になるので、がんばって行きたいと考えています。

(学生委員長 関口)

ならコープ

— 農産産直交流会 —

3月9日、第4回農産産直交流会を猿沢荘で開催しました。生産者46名、組合員40名、職員19名総勢105名が交流を深めました。

鯉淵学園、中島紀一郎教授の「21世紀・日本農業の展望と産直事業—生産・流通・消費のあり方—」というテーマで基調講演の後、生産者からの実践報告と、組合員代表も加えたパネルディスカッション「消費者が求める農産物と生産者が追求する農産物」という盛りだくさんの内容でした。今、起きている「価格破壊(例：中国産白ねぎ一束50円など)」をどう考えるか、安心かつ安価な農産物という消費者の願いをどう受けとめるか、農の価値を確認し本当の交流をどう積み重ねるかなど、たくさんの方を考えるいい機会となりました。

(組合員活動課 小西)

県連日誌

- 1/20 奈良の食文化研究会幹事会
25 第5回理事会
26 教育大学生協25周年記念式典
27 アース基金協会理事会
- 2/6 消費者契約法学習会
5 美味しんぼ交流会
7 アースデー実行委員会
10 税制会議・消費者契約法会議
15 第4回事務局会議
16 近畿府県連協議会
- 3/7 食品衛生法改正全国生協組合員集会
15 府県連協議会
15 第6回理事会
18 ユニセフのつどい

お知らせ

㊦アースデー 2001 in なら

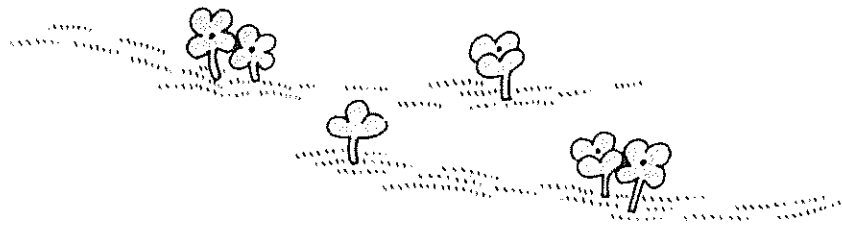
と き 4月22日(日) 9:45～
ところ 奈良県第一浄化センター自由広場
(近鉄橿原線ファミリー公園前駅下車)
内 容 大和川クリーン作戦
リサイクルマーケット等
問合せ先 ならコープ組合員活動課
TEL 0742-34-8735

㊦第12回奈良県連通常総会

と き 6月2日(土) 15:00～
ところ 共済会館やまと

㊦2001奈良県市民平和行進

県内行進 6月26日(火)～30日(土)
問合せ先 奈良県生協連合会
TEL 0742-34-3535



編集後記

▽学生理事・学生委員の送別会と県内生協の連帯活動に功績のあった学生(高専生協・弦川さん)に対する表彰式を行った。今年卒業の学生は私が県連の事務局として関わって4年という同じ歳月を生協活動という同じステージで過ごしたという意味で感慨深いものがある。私にとって学生との出会いは感動の出逢いであり、新たな発見の出逢いであった。別れはまた、新たな出逢いの始まりであり、良き出逢いがあらんことを！ (俊)

▽一人娘が嫁いで五ヶ月になる。「空の巣症候群」になって寂しくて娘の部屋できつと泣いちゃうよ、って先輩から教わってたけど、いっこうにそんな兆しはない。冷たい親なのかなあ？子どもが結婚しようと思える人にめぐり逢ってくれたというだけで、ほんとに嬉しいことで新たなファミリーが創られて行くとても建設的な循環を想い、春の光の中で親としてなんとも心地よい開放感を満喫しています。(恭)

▽先日、生協の共同購入班3人で、ランチへくり出した。しゃれたレストランは女性のグループでいっぱい。お父さん達の昼食はいくら？というテレビ特集での司会者が「涙ぐましい！奥さん知ってます？」とため息をついていた。でも、たまには育児や家事から解放された時間も大切。こんな楽しくリフレッシュできる会食には、人のうわさ話しや家庭の自慢話は似合わない。あーおいしかった！さて、今夜の夕食は…？ (銘)

奈良県生活協同組合連合会

〒630-8136 奈良市恋の窪1-2-2 ならコープ気付
TEL 0742-34-3535 FAX 0742-34-0043